

5. 全体会Ⅱ

(社) セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

鶴田 厚子

概要

この研修で学んだ事を実践するため、「プロジェクトのより良い終わり方」について自らの仕事にいかに関用するか、そのためにはどのようなアクションプランがあるか、その課題、原因、対策は何かを考える時間にした。

- (1) NGO が3グループ、JICA が2グループに別れた
- (2) 各自が、自分のアクションプランを書いた
- (3) グループ全員で話し合い、「課題」「原因」「対策」としてまとめた
- (4) グループとして発表した

NGO-1

共通課題 ・プロジェクト終了後の活動、インパクト継続のための現地の基盤が不
充分

・プロジェクト立案時に終了に関する考察がなかった

課題

・効果持続システムがない

原因

・プロジェクト形成段階でカウンターパート（現地住民）の役割分担が
具体化されていなかった

・パートナー団体との共通理解がない

対策

・オーナーシップ向上のためのセミナー・ワークショップ

・ロードマップの作成、活動項目の洗い出し、人材育成など

・ロードマップ実行のための資金確保

NGO-2

課題

・プロジェクトの評価が行われていない

・プロジェクトの立案がしっかり行われていない

原因

・資金、時間、人（数）がない ⇔ （組織的に）したくない

・技術（人の質）がない ⇔ （人的問題で）したくない

・知識の蓄積となる資料の整理がない ⇔ 人のやる気に任されている

対策

| | | | |
|------|------------------------------------|-------------------------|---|
| 短期 | 出張報告として 局内に還元 | 知識の蓄積となる 資料の整理 | 自分のプロジェクトに 学んだことを還元する |
| ↓ | | | |
| 中・長期 | 自ら学び 組織に還元 評価の経費を コストに含める | 問題点の共有 スタッフの 社会保障 | NGO 間の ネットワーク強化 スタッフの育成 (研修派遣、勉強会) |

NGO-3

課題

- ・フレームのないプロジェクトを実施している

原因

- ・プロジェクトの終了という考え方がなかった
- 諸ギャップ
 - ー日本から見たニーズと現地のニーズのギャップ
 - ーカウンターパートと日本側のニーズ（価値観）のギャップ
 - ー村人のニーズとカウンターパートのニーズのギャップ

対策

- ・「プロジェクトの終わり」のための計画・戦略を立てる
- ・一緒に活動している人たちとの学習を大事にする
- ・事業の評価を実施する

JICA-1

目指すは→ 柔い！早い！安い！熱い！

課題

柔い

- ・PDMに固執
- ・予算ががちがちに決まっている
- ・プロジェクトの形骸化

早い

- ・手続きが遅い

安い

- ・コストパフォーマンスが低い
- ・フィージビリティが弱い
(相手に資金がない)

熱い

- ・プロジェクト関係者との関わり方
- ・「親子」与えるー与えられるの意識
- ・顔が見えない
- ・意見を言い出しづらい

対策

- ・話をききながらさじ加減する
- ・持っているプロジェクトを見直す
- ・地域部の強化

- ・締切を決めて守る
- ・現地に予算と権限をおろす

- ・事業予算の上限を決める
- ・事業の効率化
- ・相手方で資金を回せる仕組みをつくる
- ・開調の中に経済循環の項目を入れる
- ・市民感覚をもつ

- ・人間関係づくりに取り組む
- ・日本の地域と相手国の地域をつなげる
- ・目標の共有
- ・用語の統一
- ・社会改革を意識する
- ・プロジェクト報告会を行う
- ・目を閉じて瞑想、肌で感じる

JICA - 2

- | | | |
|----------|---|---|
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 草の根技協のプロポーザルが NGO にとって書きづらく、 JICA にとっても読みづらい | <ul style="list-style-type: none"> * 草の根技協、協力隊事業が適切に評価されていない |
| 原因 | <ul style="list-style-type: none"> ・ NGO/JICA で「プロジェクト」の「終わり」についての認識が異なる ・ プロポーザルが JICA の枠組にのっとった形式になっている | <ul style="list-style-type: none"> * 草の根・終了時評価項目時期 |
| アクションプラン | <ul style="list-style-type: none"> ・ 草の根技協に適切なプロポーザルの書式をつくる(変更する) (例) ・ 3年間の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動、ムーブメント、目標 ・ 団体の目標 ・ プロジェクトの終わりについての認識の共有 | <ul style="list-style-type: none"> * 評価のやり方見直し |

.....

全参加者での研修の振り返り

研修を振り返って今の気持ちを天気で表すと?
(それぞれのグループに分かれ、理由を発表)

| 気持ち | 理 由 |
|------|------------------------------------|
| 晴 | エネルギーが出た。NGO のことも JICA のこともよくわかった。 |
| 晴のち曇 | 課題が見えたのは晴れ。見えすぎて、帰ってからの作業を考えると曇。 |
| 曇 | 相互の問題点がわかったのは良かったが、いい方へ向かうのは多難。 |